

## 紋別市立潮見小学校「教育目標」

### 1 「教育目標」と「低・中・高ブロックの目指す姿」

令和元年11月1日より、教育目標の見直しを行い、学校・家庭・地域の願いを考慮し、次のように教育目標を改定した。「低・中・高ブロックの目指す姿」は、それぞれのブロック修了時に、児童が身に付けておくべき力を端的に表現したものである。

【教育目標】高め合い 未来に向かう 潮見っ子			
柱	しっかり行う	おおきな心	みんなで学ぶ
視点	○最後までやり抜く行動 ○正しく判断した行動 ○強い意志をもった行動	○ねばり強い心 ○しなやかな心 ○挑戦する心	○意欲的な学び（主体的） ○協働的な学び（対話的） ○深める学び（深い学び）
低	あきらめないでやり抜くことができる。	みんなと仲よくし、いろいろなことに挑戦することができる。	考えたことを伝え合うことができる。
中	正しいと思ったことに、自信をもって取り組むことができる。	自分と異なる意見を大切にし、あきらめない気持ちで、やり抜くことができる。	友だちと共に考え、新しい発見をすることができる。
高	自分の言動に責任をもち、自分の意志で考え判断し行動することができる。	異なる意見や立場を尊重し、高い目標をもち、全力でやり抜くことができる。	学んだことを結び付けながら、新たな学びに向かうことができる。

〔令和元年11月1日改訂〕

〔令和3年3月11日一部改訂〕

### 2 教育目標の設定理由と特徴

#### (1) 教育目標の設定理由

- ・互いに高め合う集団となり、明るい未来に向かっていく子どもになってもらいたいという理由から、この教育目標を設定した。
- ・「高め合う」とは、学び合いによる高まり、伝え合いによる高まり、支え合いによる高まりなど、様々な高まりを含めている。子ども同士が集団の中で高め合うことで、知力・体力をより一層伸ばし、心豊かな人に育ててもらいたいという願いを込めている。
- ・「未来に向かう」とは、本校の教育を終え、夢や希望をもって中学校・高等学校に進むことだけでなく、地元・紋別市や北海道の未来を支える人材になってもらいたいという意味がある。さらに、グローバル化社会や情報化社会を生き抜くため、国内外だけでなく海外においても活躍できる人材を育てたいという願いを込めている。

## (2) 教育目標の特徴

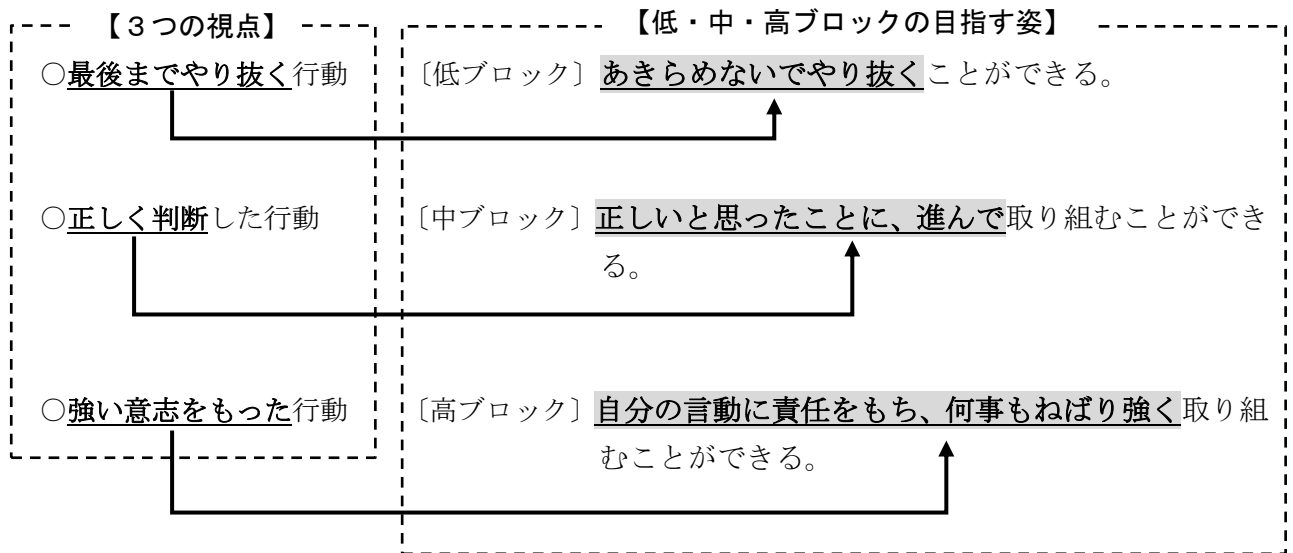
- ・児童・保護者・教職員が親しみやすいように、「5 7 5」の調べとした。
- ・潮見小の子どもたちの目指すべき方向性を明確にし、端的に表現した。
- ・未来に向かって力強く歩んでいく子どもの姿を表現した。

## 3 教育目標を実現するための「3つの柱」について

### (1) 「3つの柱」の考え方

- ・教育目標を実現するために必要な柱を知・徳・体（順は逆）の3要素として設定する。
  - ⇒ 「しっかり行おう」…「**体**」の要素
  - ⇒ 「**おおきな心**」…「**徳**」の要素
  - ⇒ 「**みんなで学ぶ**」…「**知**」の要素
- ・「3つの柱」のそれぞれに「3つの視点」を設け、望ましい行動、道徳的価値の重点項目、学びの姿を設定した。
- ・「3つの視点」では順位性を暗に示しており、それが低・中・高ブロックで目指す姿に反映されている。

(例)



## 4 「低・中・高ブロックの目指す姿」について

- ・「3つの視点」を基に、児童に理解できる語句を用いて目指す姿を設定した。
- ・「教育目標」－「3つの柱」－「3つの視点」－「低・中・高ブロックの目指す姿」の目標レベルでの関連を明確にした。
- ・学年目標や学級目標を考える際に、「低・中・高ブロックの目指す姿」を基に設定することで、教育目標と一直線につながるようなことができるようにした。